

## 学校教育目標

主体的に思考・判断し、表現する子どもの育成

## 伝統と文化を受け継ぎ、地域と共に育てる

## 学校運営協議会を核として

- ・地域素材〈人・物〉の活用  
(明德農園、脇の山、岩倉川、池、幼稚園、福祉施設、史跡・寺社等)
- ・学校安全体制の強化
- ・学校支援ボランティアとの協力  
(見守り、図書、放課後まなび教室等)
- ・学校評価を生かす
- ・各種団体との協力  
(少年補導委員会、社会福祉協議会、体育振興会、女性会、老人クラブ等)

めざす子ども像  
【明德の子】

- あ 相手にしっかり伝える子
- あ あいさつをする子
- め めあてをもって活動する子
- い 命を大切にする子
- と 友だちを大切にする子
- く くり返し最後までやりぬく子

## 個を生かす

## 一人一人の子どもを徹底的に大切にする

- ・LD等支援の必要な子どもの学力向上
- ・子ども理解を第一に「子どもの困り」をとらえる
- ・保護者との話し込み
- ・課題の明確化・支援の具体化
- ・個別の指導計画の作成と活用
- ・支援体制の確立
- ・ICTの活用等、学習支援の充実
- ・ソーシャルスクールワーカー、スクールカウンセラーを活用した教育相談体制の確立

## 「確かな学力」の育成に向けて

## 学校教育目標具現化のために

## 「豊かな心」の育成に向けて

## ◎読解力、表現力を高める国語科の授業づくり

- ・年間指導計画を見直し、学習活動の見直しや系統を整理。
- ・説明的文章を中心にして、螺旋的に授業を構築。
- ・単元の学習の中でつきたい力を見極め、その力を育てるための適切な「単元を貫く言語活動」を設定。
- ・児童が主体的に取り組めるように、教材や発問、授業の流れを工夫。
- ・学習の流れや学習した内容を確認められるような教室掲示の工夫。

## ◎読書活動の充実

- ・国語科の学習の中に確実に読書活動を位置づける。
- ・読書タイムの設定や読書のめあてを明確にする。
- ・図書館の活用の充実。学習情報源としての図書館の活用。
- ・岩倉図書館との連携

## ◎日常的な言葉を育てる取組

- ・さまざまな場面での言語活動を設定し、児童が主体的、協働的に学ぶ力を育成。
- ・国語タイムでの基礎基本、言葉の力の育成。
- ・なかよしタイムでの言語活動、表現活動の充実。
- ・「明德ことばんく」の有効活用。
- ・効果的な家庭学習のあり方を検討および「明德家庭学習のすすめ」の作成にむけた内容の検討。
- ・児童のことばを育てる教室掲示の工夫。
- ・校内掲示板の活用など言語環境の整備。
- ・新聞を活用した学習活動や新聞づくりなどを活用した交流学習の充実。

## ○人権教育の推進と道徳教育の充実

- ・さまざまな社会の人権課題に対して、正しく知り、課題解決に向けた取組に主体的に関わろうとする姿の育成。
- ・道徳の時間のねらいの明確化と多様で効果的な指導方法の工夫と充実。
- ・教職員自らの人権意識を常に問い直し、人権意識の高揚を図る。
- ・「にこにこデー」の設定を継続し、よりよい生活や人間関係を築こうとすることをねらいとした活動の意図的・計画的な取組実践。
- ・たてわり活動の取組を計画し、実践にむけて活動内容などを検討。

## ○規範意識の育成

- ・気持ちのよい挨拶の励行やスリッパ揃え、授業、当番活動、日常の学校生活の中で人を思いやる気持ちを育て、ルールやきまりの重要性を自覚する取組。
- ・学校生活のきまりを教職員が十分理解し、教職員間の指導を統一し、徹底した指導。

## ○豊かな感性と情操を育む体験活動の重視

- ・人や自然との出会いを大切にしたい体験活動の実施
- ・伝統文化にふれ、直接的な体験を通して、豊かな精神や命の温もりを感じる取組の推進
- ・すぐれた芸術体験を通して、美しさやよさを味わう活動の充実

## □「健康自立」に向けた基本的な生活習慣の確立

- ・自他の安全に関する意識を向上させる取組の推進(防犯ベル所持を徹底し、犯罪、交通事故、水難事故、熱中症、転落事故等の危険から身を守る知識と判断力の育成)
- ・「主体的に行動する態度」を育成する防災教育、防災管理の充実
- ・食物アレルギー対応・伝統的な和食文化を念頭にいた食に関する指導の充実
- ・継続的な部活動の取組など生涯スポーツにつながる体育学習や運動部活動の充実
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」等望ましい生活習慣のますますの推進

## □健康・安全教育推進にむけた教職員の認識の充実

- ・食物アレルギーや薬物乱用防止に関わる研修会などをもとに教職員の認識を深める。
- ・日々の安全点検を確実に行うとともに、危険個所にかかわる共通理解をする。

## 「健やかな体」の育成に向けて

## めざす子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

## 平成28年度の重視する視点

子どもの主体性と社会性の育成を目指して  
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める